

急激な経済活動の拡大から輸入が増え、国際収支が悪化したため、再度にわたり金利が引き上げられ、一連のデフレ政策が実施された。この結果、年央を境に景気は急速に冷却（なべ底不況へ）し、ゴム工業も当然この影響を蒙ったが、その度合いは比較的軽微にとどまった。また当年は、ゴム業界多年の懸案であった合成ゴムの国産化が実現することになった。

## 本会の主要業務活動等

- 3月 合成ゴムの国産化（新会社の設立）について、政府に促進方を要望
- 4月 揮発油税法の改正により、ゴム溶剤用揮発油の用途免税措置が実現～59年3月末まで
- 6月 IRSG第13回総会（ジヨクジャカルタ）に参加者を派遣
- 7月 日本合成ゴム（株）の創立に際し、ゴム業界より出資協力の決議（12月10日に同社の創立総会）
- 11月 日本ゴム輸入協会に対し、生ゴムの標準品買い付けの促進を申し入れ
- 12月 消防法改正法案による生ゴムの準危険物指定に反対の陳情～指定から外されることに決定

## ゴム産業関連事項

- 2月 神戸にケミカルシューズ工業会発足
- 5月 メーカー側3名、インポーター側7名からなるゴム使節団、マラヤ、インドネシアに出发
- 6月 合成ゴム製造事業特別措置法成立
- 9月 公取委、ゴム履物の特売に警告
- 10月 公取委、自動車タイヤメーカーの価格協定に警告
- 11月 通産省、ゴム製品56品目を輸出検査品目に指定（自動車タ・チ、再生タイヤ、玩具は除外）～58.1.27実施

## 政治・経済・社会情勢

- 2月 第1次岸信介内閣成立
- 5月 輸出検査法公布（輸出取締法の改正強化）～58.2.1施行
- 6月 国際収支改善緊急対策を閣議決定
- 10月 ソ連、人工衛星「スプートニク1号」の打ち上げに成功
- 12月 日ソ通商条約調印
  - 〃 政府、新長期経済計画決定
  - ☆ 5千円札、百円硬貨が登場

| 参考データ | 公定歩合の動き   | GDP<br>(名目/暦年) | 四輪車生産台数   | 新ゴム消費量    |
|-------|-----------|----------------|-----------|-----------|
| 3月    | 2銭→2銭1厘   | 10兆8,580億円     | 182千台     | 137千トン    |
| 5月    | 2銭1厘→2銭3厘 | 実質成長率：6.5%     | 前年比：64.0% | 前年比：20.1% |